

様式第4号（第5条関係）



政務活動費収支報告書

平成29年4月3日

（あて先）飯能市議会議長

議員氏名 野 口 和



飯能市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項の規定に基づき、下記のとおり平成28年度の政務活動費収支報告書を提出します。

1	収入	政務活動費	180,000	円
2	支出		108,820	円

（単位：円）

科目	金額	備考
研修費	108,820 円	4/20日本政策学校研修会参加費 10/28議員研究会参加費 全国都市問題会議旅費・宿泊費取消料
調査研究費	0 円	
資料作成費	0 円	
資料購入費	0 円	
広報費	0 円	
広聴費	0 円	
要請・陳情活動費	0 円	
会議費	0 円	
人件費	0 円	
事務所費	0 円	
その他の経費	0 円	
合計	108,820 円	

3 残 額 71,180 円

- （注）
- 1 備考欄には、支出の内訳を記載すること。
  - 2 領収書その他支出を証する書類の写しを添付すること。
  - 3 政務活動費収支報告書に係る政務活動事業実績報告書を添付すること。

政務活動事業実績報告書

議員氏名 野口和彦

飯能市議会政務活動費の交付に関する規則第5条第2項の規定により、平成28年度政務活動費に係る事業実績報告書を次のとおり提出します。

月 日	事業名	事業概要及び成果等
<p>平成28年 6月5日～ 平成29年 3月末</p>	<p>日本政策学校9期</p>	<p>全体イメージ 様々な講師から知見を得る講義に加え、主義主張・政党を超えた自由な議論を行う講義をご用意しております。 講義により政治初心者の方から政治に深い知識をお持ちの方まで幅広く政治を学び、研鑽し、自身がステップアップすることができます。</p> <p>ゲスト講師による講義 時局の話題にするどく切り込み、世の中の最先端の動きについて学びます。 私たちの社会は、今まさに変化の時代を迎えています。時局の話題に対し、優れた論点をもつ、ゲスト講師の方に時代を見通す力や幅広い事象の捉え方を養うための講義を実施いただき、「時代が真に求める政策とは何か」を受講生が自ら問い見出すための支援を行います。 講義は、質疑応答の時間も用意されており、講師と受講生が双方向にて時局の話題について考えることができます。</p> <p>地方自治講義 実際に議員や首長になった後に用いる地方自治や公会計、一般質問等を学びます。</p> <p>地方自治法における議員の在り方や役割を知るとともに、企業会計とは異なる公会計の読み方、一般質問の作成方法を学びます。またケーススタディとして、実際の地方議員の取組みにフォーカスし、地方議員になったことを想定して実際に政策を作る過程も学びます。</p>

<p>平成28年 10月28日</p>	<p>地方議員研修会</p>	<p>政策基礎講座</p> <p>手法やプロセスを基礎と実践にて学ぶことで、政策立案能力の基礎習得をします。</p> <p>手法やプロセスを学び公共経営と政策の作り方の基礎を学びます。</p> <p>政策を作る際のベーシックなスキルとして、多様な民意を反映するためのリサーチ方法や政策・条例等のベンチマーク手法などを向上させます。</p> <p>またワークショップを通じて問題解決スキームや議論のためのフレームワーク等について検証・探究します。</p> <p>成果</p> <p>現役の国会議員や知事、市長、地方議員のほか政治に関する経験や知識のある特別講師から直接多くの学びを得ることができ、さらに現場視察や政策立案コンテストを通じて政策提言の学びを得ることができた。</p> <p>また、人脈形成にも役立っている。</p> <p>教育革命のために議員ができること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ武雄市で教育革命に取り組んだのか</li> <li>・首長と教育委員会と議会の関係</li> <li>・人口減少社会と教育革命</li> </ul> <p>先進自治体に取り組んでいる地方創生</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何もしない自治体と先進自治体との違い</li> <li>・地方創生アドバイザーとしての関わりと最新事例紹介</li> <li>・人口減少社会に生き残る自治体の条件</li> </ul> <p>【講師】 樋渡 啓祐 (ひわたし けいすけ)</p> <p>元佐賀県武雄市長・樋渡社中Founder&amp;CEO)</p> <p>1969年佐賀県武雄市生まれ。東京大学経済学部卒業後、1993年総務庁（現総務省）に入庁。内閣府沖縄問題担当、内閣中央省庁等改革推進本部事務局、高槻市市長公室長などを経て、2004年総務省大臣官房秘書課課長補佐で退職。2005年当時全国最年少36歳で武雄市長に就任。ドラマ「佐賀のがばいばあちゃん」の誘致、市民病院の民間移譲、年間100万人の武雄市図書館の実現を図り、日経BP「日本</p>
-------------------------	----------------	--

		<p>を立て直す100人」等にも選ばれる。2015年1月佐賀県知事選で敗れ、現在、まちづくりの株式会社である樋渡社中を結成しCEO。</p>
--	--	--

(注) 使途基準の項目別に記載すること。